# ShiriBeshi 留学体験談　No. 28

**名　　前：濱本　留衣 さん**
**所　　属：慶應義塾大学文学部１年（※参加当時）**
**インターン先：ＨＴＭ株式会社 Skye Niseko**
**参加プログラム：ウィンタープログラム（８期生）**

## Ｑ１．どうして ShiriBeshi 留学に参加しましたか？

何か新しいことに挑戦したいと思っていたときに、夏の ShiriBeshi 留学に参加した高校の同級生に勧められて、これだ！と思い応募しました。

大学に進学してから高校生のときの長期留学で培った英語力を活かす機会がなく、英語を使って仕事ができたらいいなと思っていたので参加を決意しました。

## Ｑ２．インターン先ではどんな仕事を経験しましたか？

Skye Niseko というホテルでハウスキーパーとして働きました。清掃業務は初めてだったので最初は少し抵抗がありましたが、先輩方に一から丁寧に指導していただき、徐々に仕事を楽しいと思えるようになりました。ここで得た忍耐力やホスピタリティは今後どのような仕事をするにしても活かすことができると思うので、とても良い経験になりました。

（インターン先のホテルで仕事中）

## Ｑ３．職場の雰囲気はどうでしたか？

冬のシーズンは 9 割が海外からのお客様、そして一緒に働くスタッフの多くも外国人だったので、国内にいながら海外で働いているかのようでした。接客業務ではありませんが英語を使う機会がたくさんありました。

さまざまな国や地域から、多様なバッググラウンドを持つ人たちが集まっていて、興味深いお話をたくさん聞くことができました。

## Ｑ４．寮、その他生活環境はどうでしたか？

（ルームメイトのみんなと寮にて）

寮では日本人 3 人、スロベニア人１人でルームシェアをしていました。みんなで映画を見たり料理をしたり、充実した寮生活を送ることができました。

仕事終わりには職場のすぐ横のスキー場で滑り、休日は札幌や余市へ観光に行き、北海道を満喫しました。

## Ｑ５．大変だったことや、チャレンジしたことはありますか？

ポジティブでいることを心掛けていました。以前はネガティブ思考に陥りがちだったので、常に笑顔でいること、何事も楽しむことにチャレンジしました。しかし、なかなか上手くいかず、勤務日が続いたり仕事でトラブルがあったりすると疲れてきて心に余裕がなくなってしまいました。以前はその状態を長く引きずってしまうことが多かったのですが、今回は仕事終わりや休日にしっかりリフレッシュして、またポジティブに頑張れるようになったので少し成長できたと思います。

## Ｑ６．ShiriBeshi 留学の参加前と参加後に変化したことはありますか？

体力に自信がなかったのですが、一日７時間の清掃業務で心身ともに鍛えられました。

また、時間の使い方が上手くなりました。仕事から寮に帰り、素早く家事や入浴を済ませ、夜の時間をゆっくり楽しむ習慣がついたので、一人暮らしに戻ってからも同じスタイルを保ち続けています。

最も大きな変化は、新しい環境に飛び込むことが怖くなくなったことです。むしろどんどんいろんな世界を知っていきたいと強く思うようになったので、次は何をしようかワクワクしています。

## Ｑ７．これから応募する人に向けたアドバイスをお願いします！

何か新しいことを始めたい、自分は何がしたいのか分からない、英語を使いたい。どんな理由でも、ShiriBeshi 留学に参加すれば、きっと何か得るものがあると思います。高い志を持った仲間にもたくさん出会えます。

参加を決めた方は、とにかくなんでもやってみることをおすすめします。普段行かないような場所に行き、やらないようなことをやり、食べないようなものを食べ、話さないような人と話してみると、たくさんの新しい発見があります！

## ☆濱本さんがインターンした企業はこちら☆

**会社名　ＨＴＭ株式会社**

URL　https://www.htmniseko.com/ja/